

'11 のべおか

第九

のべおか第九だより (第465号)

2011年10月16日 (日)

○発行 のべおか「第九」を歌う会

○事務局 (延岡総合文化センター内)

〒882-0852 延岡市東浜砂町611-2

電話 (0982)22-1855

<http://www.horita.jp/dai-9.html>

---- 出席カードには会員番号を。練習中のケイタイ着信音はオフに。 ----

本日の内容	前回の状況	会員数	出席数	出席率	自己採点
森口先生の指導を復習	◆ ソプラノ	38 人	31 人	81.6%	56.8 点
○ A (237~330小節) p.9~18	♥ アルト	67 人	49 人	73.1%	62.1 点
○ B (411~654小節) p.21~35	♣ テノール	28 人	19 人	67.9%	75.0 点
○ C (655~762小節) p.35~47	♠ バス	40 人	21 人	52.5%	67.1 点
○ D (795~920小節) p.50~63	● 合計	173 人	120 人	69.4%	64.2 点
12月17日まであと 62日					

♪ 森口先生の指導をしっかりとマスター!



@ 「第九」 編

その付近の注意…●総合・◆ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス

その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♠テノール・♠バス

★…お話

(ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!)

★ 238 【お話し】 いきなり延岡市と深い縁ができて、とても嬉しく思います。よろしく願いします。さあ、とにかく我々は音を出してなんぼですから、声を聞かせていただきましょう…

● 257 【Dei-ne Zau-ber~】 意味をもっと付加しましょう。このあたりは音程、問題ないですから。“al-le Men-schen”(260,261)は“全人類”ですから、それだけのイメージを皆さん膨らませてください。一番のテーマです。“全員が兄弟になる…”。恐いのは慣れてきて覚えてくると自然に歌が出てきますから、その分、意味が抜け落ちて記号みたいになってしまう…これは一番恐い。ちょっと今、記号だったかな!? “Dei-ne Zau-ber”、“あなたの魔力=神の力”はまさに現代に通じますよね。時代や風潮というのが“streng ge-teilt;”“引き裂いた”、そのような引き裂かれた関係を神の力で手を結ばせるという…。それによって全人類が兄弟になる。ただ歌うんじゃなくて、そんなことを考えてほしいです。



○ 284 【Ja,】 “Ja,”は“Ya,”じゃないですよ。“ジェイ”を言うつもりで口を…どんな形になりますか?“ジェイ”を言うつもりで“Ja,”。みなさんみんな浅いです。準備が必要。

● 288 【Er-den rund! Und~】 “Und wer's nie ge-konnt, der steh-le wei-nend sich aus die-sem Bund.”、“…wei-nend(泣きながら)…我々の共同体から去っていけ”という問題のある歌詞です。“友達のいないやつは…出ていけ”ちょっときついです。…なんというかなあ、“人はひとりでは生きていけない”ということの裏返しですね。“nie”(289)は“never”。確認してください。sfがありますね。これみなさん落ちてます。そしてdimして“wei-nend”(291)。もっと“泣きながら”というイメージを持って。

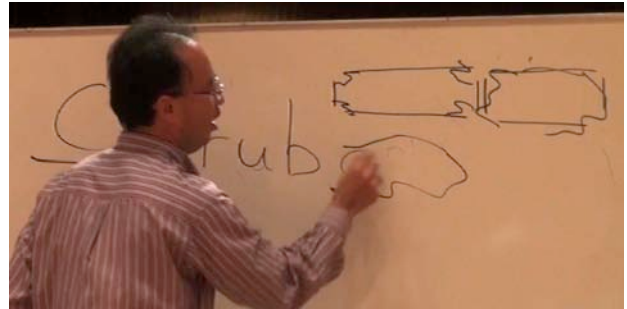
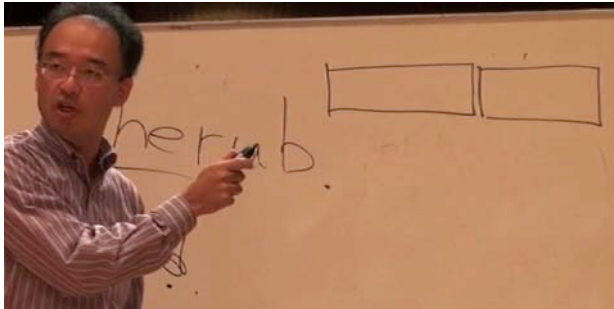
○ 292 【die-sem Bund.】 “…Bund.”の切り方が遅いです。次の小節の頭に“…d.”、この形はナシです…淡々と。

○ 315 【ei-nen Freund, ge-】 こういうところを曖昧にしない!“ei-nen”の“…n”。

○ 316 【prüft im Tod; Wol-】 “prüft im”の“…m”。…これはねえ全て聞こえます。今日から毎回確認してください。覚えたと思わないで。

○ 318 【Wurm ge-ge-ben,】 “Wurm”は勘違いしそうなんですけど、“ブーム”です。“…r…”は入れてほしいんですが、ここは早口ですね。“虫”といっても“カブト虫”とか“クワガタ”じゃなくて嫌われるほうの“毛虫”とか“うじ虫”とかいう虫です。これ、“…r…”を無理して入れると“ブルーム”と云っちゃう人がいるんです。あくまでWにuが付いています。“ブーム”でいいです。“ブルム”と無理に入れると喉も締まっちゃうし“ブルーム”となってしまいます。

○ 319 【und der Che-rub】 ここまでも大変なんですけど、“… Che-rub …”という言葉、“…大天使が神の前に立った…”、ほとんどなにか意味わかんないんですけど、ここはマークしてください。あとイメージも豊かにしておきましょう。なんでもいいですから、羽根とか輪っかでもいいです。何かそういうものが出て来た! …というようなものを映像的に。



- 321 【und der〜】 ここからスタッカート付きの2分音符が続きますけど、こういう質感(レンガを積み重ねて隙間を開けたような)。みなさんのはその境目があいまい…。一言ずつ“und der Che-ruhteht vor Gott, …”印籠を出してください。エッジの角がきちっと切り立ったものが少しだけ隙間があって並んでいるというイメージです。レンガとレンガの間に白いものがありますね。そういうしっかりとした建築物ね。やっぱり我々日本人ですから、建造物というと襖とか障子とか…あれ、なし! もっと石造り。
- 330 【Gott.】 …目を開いて。あんまり面白い事やらせないで(笑)。そういう人間と思われちゃうから。ビデオまで撮ってるもんねえ。すいません、私も大阪生まれの大阪育ちなもので…とにかくそういう音を出していただきたい。全ては解りやすく、なおかつ良いものにしたいからね。
- 543 【Freu-de,〜】 全部、絶叫調にしてしまうと、sfが効きませんので、基本は文章を朗々と朗読するモードにしてください。そしてsfの位置を確認…(549,553,557,570,586)。一段、楽に歌ってみましょう。それで文章をなだらかに喋るように。ただし数カ所出てくる sf は必ず強調して。



- 595 【Seid um-〜】 いくら何回も歌っているとはいえ、声楽的な観点からしても「第九」の合唱って非常に難しい、非常にハードな曲です。しかも意外と覚えにくい。歌を専攻している学生にも言うんですけど、うる覚えで歌うと良くないです。未だ言葉を見ながら楽譜に半分かじりつきながらだと、良い声が出ない。まだまだ本番まで2ヶ月ありますから、とにかく覚えていきましょう。そうやって自分のものにしていくという感覚を身につけて。楽譜を見ちゃう(…)と“Seid um-schlun-gen, … Mil-li”と凄い飛躍があるんです。これは(覚えて高く出すという)用意しておいてください。これは歩いていて壁が見えていたらいいけど、さきほどの皆さんの歌はこうですよ…“Seid um-schlun-gen, (気づいたときは壁!) Mil-li”。もうその時は壁にぶち当たって顔面鼻血ブーですよ。ですから覚えるしかないんですね。……それと日本人はプロ・アマ問わず弱点なんですけど、“ウ”が弱いんですよ。なにしろ日常でそんなに“ウ”は口をほとんど“ウ”の形にしないで言ってますからね。「ちょっとお昼、何食べるう? うどんにしよかあ…」を「“ウ”どんにしよか!」(笑)…そんな人いないですよ。でも舞台語、それも外国語ですからね、“ウ”というのを常に意識しておいてください。“schlun-gen,”なんです。“schlun-gen,”。(“ウ”←口の中をたくさん開けて)。“ウ”のときは必ずそうしてください。それだけでも随分、らしくなります。“um-schlun-gen,”のときは口の形を変えないでください。

- 595 【Seid um-】 “ザイトウム”じゃない。“ザイト ウム”。ドイツ語の場合は必ず言葉は切れます。繋がりませんので。
- 596 【お話し】 それとドイツ語は比較的法則的な言語なので、そんなに難しくありませんけども、“ng”となったときは例外で鼻に抜けます。“シュルンゲン”。はっきりガキグゲゴの“ゲ”じゃダメですよ。これはちょっと気になりました。基本のドイツ語は逆です。“ゲ”が基本なんです。鼻に抜けるのがどちらかと我々…ガキグゲゴが文頭に来る強調するときは言いますけどね。ドイツ語は“g”に関しては“ゲ”と気をつけてほしいんですけど、ここ“ng”に関しては柔らかいです。
- 600 【Kuß der～】 さきほど通したときは“Die-sen Kuß der (プレス) gan-zen Welt! …”でした。ここ(“der gan-zen Welt!”)では絶対プレスを入れないように。この後続く女性もそうです。“Die-sen Kuß”で息を吸って“der gan-zen Welt!”を出すように用意して。



- 603 【Seid um～】 男声の部分は力強くね。それでも常に音程は上からあてて欲しいんですね。さらに女声が入るときにはそれを見おろすというか、優しく包む…ラッピングしてあげてください。今のは下から“ズあ～イ…”って来ている(笑)。これも早めにイメージを作って。もっと言うと、お客様を包む感じで。常に客席に向かって…お金を払うのはあっちですから。……はい、楽譜を見ましょう。609小節“gan--zen”でff (フォルテッシモ)だと思います。皆さんの楽譜に間違いがあります。女性が入るこの部分ですね、これはf (フォルテ)です。包み込むわけです。フォルテッシモでガツンと押し付けるんじゃない。



- 609 【gan--zen】 “全世界”、“gan--zen Welt!”でフォルテッシモ。……それと言葉のことが多くなって煩わしいとは思いますが、言葉が一番大切なのでね。今、完全に間違ってるのが“gan--zen Welt!”。この“…n”のときに完全に口をつむっている。これはこちらからわかります。我々は“ん”ってときは全部口をつむっちゃうんですけども、“…n”のときは口をつむりません。舌が上あごにくっつきます。“な”と言ってみてください。日本語の“な”行を言うときは必ず舌がどこに着くか?“gan--zen”はその位置なんです。これが“…m”なら口をつむる。これは必ず守るようにしてください。日頃の訓練が大切です。道あるいてるとき、風呂はいつるとき、常に“gan--zen”? やってください。……“…n”で終わる単語、非常に多いですね。“schlun-gen”、“Millionen”、“Diesen”…ほとんど“…n”でおわってまんねん(笑)。かなりチェックなさってください。

○ 611 【Brü-der!】 “Brü-der!”はオリジナルには書いてないんですけど、(フォルテッシモではなく)フォルテにしておきましょう。

● 619 【Brü-der!〜】 ここは非常に大切な意味がありますね。“Brü-der! (兄弟よ、みんな聞いてくれ) ü-berm Ster-nen-zelt (天上の世界には)”このところで皆さんは天を指してなければならない。そうすると高い音も出ます。確固たるものをもってください。細かい事を言うと“ü-berm”、ここは“…m”です。“Ster-nen-zelt”、ここは“…n…”ね。天上の世界には何がある…誰が住んでいる?? …誰? 高木ブー??(笑)。“Vater”と言っていますけど“神”ですね。それも僕らには神の数の概念がないけど、“ein”。はっきり“ひとりしか住んでない神”と言っているんです。これは大切です。二十九!! “我々の敬愛する神がひとりだけ住んでいるに違いない!”と言っているんです。



○ 619 【Brü-der!】 フォルテひとつ、これは正解です。これもやはり優しく包むように。……難しい単語です。“Brü-der!”。この“Brü…”をもうちょっと前に、もちろん包む込むように。

● 622 【zelt muß_〜】 “…違いない”それが“ muß”。これは宗教的な確信ですね。これ皆さん必ず覚えて帰ってほしいんです。“…ß”。これを強調してください。かなり強烈な“…ß”を。いよいよここからが宗教的な、僕らには理解が…宮崎県は高千穂もありますし“八百万の神”、神さんはぎょうさんいるわけですよ。でもココは違うわけです。この歌をうたう上で一神教だということを理解しましょう。確信を持って。「“ひとり”住んでいる…今日終わったら何しようかな…」そんなダメですよ!! (笑) “住んでいるに違いない!”と歌い切ったら、その空気を崩さない。…演じてください。ここはオペラです。そしてちょっと言い過ぎたかなということで謙虚な気持ちになって次です。“Ihr stürzt nieder, (631〜)”で“ <> …”、“Millionen?”(633〜)でcresc. ここからいよいよ極端な(強弱)表現が出てきます。でもどんな場合でも休んで普通の自分に返る瞬間はないと思ってください。今、歌い終わった後、普通のみなさんになってる!? それはいっさいありません。舞台の上に戻ったら、プロ・アマ全然関係ない。一段上がった瞬間に演技手です。それを忘れないように。

○ 626 【woh-nen.】 “woh-nen.” (…n) !? こういうところで口とじた人は…なんか…電気かなんか通したほうがいいかな(笑)。うそです! 先生方からはいろいろ言われていると思います。“…m”になってる?! 残念です。

○ 631 【Ihr_ stürzt】 …いいですねえ! 今の“Ihr_”というのは良かったです。もう本番をやりたくなかった! 良かった、本当に集中してました。その集中力です。ここは“<>”がありますが、“stürzt”で母音はひとつしかないという…なんですけど、慌てる必要はないです。“Ihr_ポン…”と出しますから慌てずにいきましょう。

● 634 【o-nen?〜】 “-nen?” は“…n”の口をずっと続ける必要はないです。もう次は“Ah-”の、またここでpp。“Mil-li-o-nen?”をcresc.で“…そうじゃないのか?”と問いかけて“Ah-nest du…”がpp。

○ 635 【Ah-nest】 “Ah-nest du”はくっつけていいです。“…ネス ドゥ”。



- 638 【Welt?】 “Welt?”は“1,2,3”の“…3”と振るとき“…t?”を発音してください。遅い方が多いです。そうやると次の“Such”をつくる時間がなくなってしまいます。
……いや、“…〜ェルト”と押さない! ……あなたがたの世界は小さい“しえかい”(笑)。(ここはff。)突然“世界”と叫ぶわけです。かなりおかしな人(ベートーベン)ですよ。真の天才的な芸術家というのは私を含めた凡人にはちょっと及びがつかない。ここはまさにそういうところです…通常の神経ではできない。ppになったりffになったり、ひれ伏したり…突然“世界?”とff。「第九」は全国どこでもやりますけど、そんな簡単じゃないと思います。音程・リズムは当然のことなんですけど、最終的にはドラマというかなかなかば狂乱、熱狂的と言っていい、この表現ができないと。

- 639 【Such' ihn】 “Such'”の“…ウ…”の発音。……飛び込まない! 慌てないでいいです。

- 643 【Ü-ber〜】 “Ü-ber Ster-nen muß er woh-nen,”、ff。ここをやりたかったんですよ!! みなさん、なんか普通ですねえ? 血管の二三本切れてもいいんですよ、ここは(笑)。ホントに切れちゃ困るけど…。でも現実には毛細血管が切れてると思います。それぐらいの熱狂、狂信的といってもいいかもしれない。うまく歌おうと思わなくて結構です。心の底から何かをやると思って歌ってください。



- 645 【muß er〜】 すみません。キリスト教を信じてらっしゃる方もいると思うけど、僕は別に批判的な意味で言ってるわけではないですから誤解なく。…歌詞はやっぱりどこかに狂信的な部分があると思います。これを“muß”にしてください。この“…ß”を思い切って表現する事で“…いるに違いない!”。もしくは“ひとりいるに決まっている!”。そういうのでなきゃおかしい表現“muß”です。こうして絶叫したあとで次の女声の“ü-ber Ster-nen…”(650〜)。こっちのほうは一度同じ言葉を言ってますので、あんまり言葉を立てるといよりはppを大切にしてください。特にソプラノの方はできるだけ“ü-ber Ster-nen…”で口の形を変えないように、響きを重視してください。

- 646 【woh-nen,】 “-nen,”、“…n”半分以上、口をつむってる!?

- ◆ 655 【Freu-de, schö-ner〜】 ……ちょっとリズムを考えすぎて…(跳ねている)。もっと“Freude, schöner Götterfunken, …”(レガート)。あくまで文章ですから。

- ♥ 655 【Seid_ um--〜】 ……先ほど言いましたね。音程は必ず上からです。そのほうが響きます。

- 655 【〜】 ここで音楽的には決してリラックスできず難しいんだけど、ここからはグーッと我々の世界に近いと思ってください。もちろん神々しいものはありますけども、あの緊張感(631〜654小

節)をくぐり抜けて“Seid_…”。ここからは比較的安心できる。そういうふうになってください。……大雑把に言いまして、この「第九」は“Freude, schöner Götterfunken, Tochter aus Elysium,…”が1つの主題としたら、ほとんどそれで出来上がっている。それが変化していった。それともう1個の主題がさきほどの“Seid umschlungen, Millionen! Die sen Kuß der ganzen Welt!…”この2つしかないと思っていいぐらいです。この2つが同時に会うところがここからの部分です。だからこれを二重フーガ。“フーガ”といったら要するに“おっかけっこ”ですね。早い話が“かえるの歌”ですわ(笑)。ま、それよりは少し難しいですけど…。特に“歓びの歌”の“Freude, schöner Götterfunken, …”が変形したほうが難しいですね。こっちのほうのリズムがどんどん転んでいっちゃうんですね。これ6/4拍子というちょっとめずらしい拍子なんですけども、4分音符が6つあります。この“Freude, schöner Götterfunken, …”の主題を歌う方はこの“ラッタッタタタタ”というリズムをとってください。大まかにとっちゃうと、坂道を転がっていくボールのようになってしまう。



……それと2つの主題とは別口で各パートに“Freu-de!…Freu-de!”と入りますよね。これは聴かしてほしいので、必ず1小節前ぐらいから“F…”を準備して、周りからまだ「言うな言うな」と静止されているところを「(私は言いたい)…Freu-de!»というぐらいで出てください。じゃないと特にアルト(672,674小節)が聞こえないんですよ、めちゃくちゃ低いんですよね。これは声の音量で聞かせようとしても不可能なんです。顔と“F…”で。「…来たぞお…“F…”」と準備の顔をせることで聞こえてきますので。

……あと永遠の課題ですね。“ウ”。“Diesen Kuß”。



- ◇ 685 【gan-zen】 …ちょっとソプラノ、音程よくなかった。最初に言った“壁”の理論。皆さんは今、顔面からブチ当たってる。ここを歌うつもりで“Die--sen Kuß der…(683~)”と歌う。
- ◇ 686 【Welt,】 “Welt, ”の“…t”が入ってないですね。“gan-zen Wel…”で終わってしまっている。必ず“…t”まで入れてくださいね。
- ◆ 718 【Welt!_~】 ここは何回息を吸ってもいいですから、カンニングプレスで。
- ♥ 720 【Freu-de, schö-ner~】 アルトが最後にスポットライト浴びますね。“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken,…”という旋律が来ます。そういうときは「自分に光が当たっている」というイメージをもっと持って、僕ではなく客席に最高の表情で。……晴れがましい表情をつくる時、そ

れは目ですよ。目が開くと口の中も開きますから、表情も良くなります。目で歌おうと思って。…凄いよね、さっきより音量が倍ぐらいになってる! 不思議なものですよ。

- ★ 720 【お話し】 今から癖をつけてほしいんですけども、皆さん僕のほうを見るんですよ。それはいいんですが、最終的には全員立っているところから真っすぐ客席を見てください。客席です! 私ではない。私は絶対視界に入るわけですから…と言いながらだんだん私のほうを見ている(笑)。それ、ナシね。指揮者は視界のどこかに入れ情報を受け取りつつ、1階席の後ろの列…ね。よく舞台人、オペラ歌手はみんなそう言います。位置決めをするとき、何列目の何段目を見てここの場面を歌おう…とか。



- 730 【Ihr stürzt~】 ここ、(リズム)覚えましょう。覚えないと歌えない。休符のときに譜面を見ちゃうと切れてしまいます。“Ihr stürzt nie--der, Mll--li-o-nen?”の“nie--der,”は(休符で切れていても)ひとつの言葉ですからね。一直線! 自分以外のパートも覚えるように。休んでいる間、自分の歌うイメージを作っておいてください。あとはリズムです。難しいですこれは…。でも皆さんの目の前、結構比較的近いところでファゴットとクラリネットの木管楽器が“ンパツパツパツパ…ンパツパツパツパ…”と…これがメトロノームといいましょうか、これを感じながら歌ってください。……さすが皆さん、飲み込み早いです。でも、もっと細い道を行ってください。“Ihr stürzt (楽譜見て) nie--der,”と歌ったら、落ちて死んでしまうと思ってください。それぐらい緊張を持って。緊張して“…Ster--nen zelt!”(744,745)まで歌ったら…安心してください“Brü-der! (休符) Brü-der!”(745~748)。この“Brü-der!”という呼びかけをもっと楽に。ああ良かった、全員橋を渡れた…と。まさに劇ですオペラ!……(普段の自分と)まったく違う人物を演じなければなりません。しつこいようですが、プロ・アマ、玄人・素人、関係ないです。舞台に立ったら演じてください。日常を出さないでください。



- 745 【zelt! Brü~】 “Brü-der! (休符) Brü-der!”(745~748) まだ皆さん、体が硬い。橋を渡っているときのままですよ。……まだねえ音楽と距離がある!? もっと音楽にもたれかかってください。信頼して。…それとまたみなさんだんだん真ん中を見ている!? お金はらうのはお客さん! 私じゃない。……今、だいぶ良くなりました。肩がほぐれてきたかな。うちの大学の宮本先生も指導されたと思いますが、顔が硬いと全部が硬くなります。この“Brü-der! (休符) Brü-der!”で何人の方かは反応して非常にいい笑顔! する必要はないんだけど、自然とリラックスした笑顔。目です。宮本先生の指導では頼ね。

- 918 【Freu-de, schö--ner~】 オケのパートを見て頂くとわかるんですけど、真っ黒けなんですよ。32分音符が…だから皆さんは1つ振りで“ Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken! Göt-ter-fun-ken!”とう感じでいきます。…なんの先入観もなく…テンポは変わらないと思ってください。

- ◆勘定のいれ方など大変勉強になりました。
- ◆今日はハードでとてもつかれました。本番が不安です。
- ◆久々にもえつき寸前になりそうなほど夢中で歌えて幸せでした♡
- ◆森口先生の指揮、初めて見ました。熱狂的で引き込まれました。
- ◆森口先生のレッスン、楽しかったですよね~!
- ◆いよいよ券売りが始まりました~!! 行く所行く所声をかけていますが、なかなかむずかしいですね。歌うほうも売るほうも頑張ります♡(ミーヤ)
- ◆すみません早退します。再来週、練習元気に来ます。(五月(さつき))
- ◆先生の発音や表情などでとても歌いやすかったです♪
- ◆情熱的な森口先生の指揮に緊張しっぱなしでしたが、もう一回ある指導回もとても楽しみです。(セロ弾きのゴーシュ)
- ◆意味を考えながらうたう時期がきたんですね。ますます難しいですね。
- ◆本番が近くなったのでドイツ語をがんばっておぼえます。
- ◆今日は森口先生のご指導日、楽しみです。
- ◆10月は3回の練習日。ふんばって練習日を休まないように調整していこう。いよいよ映画撮影もクライマックスの様だ。楽しみだ。(m♪)
- ◆森口先生の指導日、楽しみにしてきました。“第九の世界”ステージで演じる大切さ、über Sternen muß er wohnen 星たちの上に必ずや創造主は住みたまわん…

- ◆もう一度現詩を読みなおしたいです。
- ◆前回の愛子先生の指導でもっともっと特訓しなければという気持ちが伝わり、気の引き締まる思いでした。
- ◆とてもわかりやすかったです。久々の練習でしたが、次回もがんばります。
- ◆今日は第九の歌い方を論理的に指導を受け、ドイツ語の発音を多く学びました。森口先生の歌う時は、お客様のほうを向いて歌うという指導を受け印象的でした。
- ◆今日は大変勉強になった反面、



- ◆自分の力不足を実感しました。
- ◆レベル高くてちょっとむずかしかったかな? やはり体力をつけなければ!!
- ◆森口先生の指導がとても素晴らしかったです。(M.Yoshimoto)
- ♥3ヶ月ぶりに参加しました。またよろしくおねがいします。ガンバります。
- ♥不恩威ながら今回お休みが多くてエッ! もうあと2ヶ月!? ってかんじです。CD聴いてがんばります。(2年生)
- ♥オペラで森口先生のレッスンを経験済みですが、エネルギーで楽しいご指導!! たくさん、課題もいただきました。(イマ カン)
- ♥素晴らしいご指導でした。ありがとうございました。(チーママ)

- ♥久しぶりの参加でした。声を出して楽しかったです。本番まであと2ヶ月…がんばります。
- ♥森口先生のご指導、すばらしかったです。エネルギーでわかり易く、大変勉強になりました。発音やアクセント、イントネーション、旋律の流れなど大変やる気(歌う気)が出ました。本番が楽しみです。(N.K.)
- ♥男性的な指揮を見ました。力強くそして細やかでわかりやすくできてました。(ねずみバーバ)
- ♥熱狂的なご指導で、すぐのせられその気になって歌うことができました。本番が楽しみです。
- ♥つかれました。(アツちゃん)
- ♥すごく楽しかったです。疲れました。本番が楽しみです。(日向キルトママ)
- ♥今日の迫力はすごかった。歌詞を早く覚えなくては!
- ♥森口先生の指導、とても勉強になりました!!
- ♥森口先生のご指導で、だいぶ変わったと思います。最近、寒くなってきたので、体調管理にも気をつけていこうと思います。
- ♥最初とても緊張しましたが、歌っていくうちにつれて楽しくなりました。テンポ、いつもと違うので気をつけなければと思います。
- ♥舞台に一歩踏み入れたら、演者として演じ切る覚悟で頑張ります。濃い練習でした。(よっち 2525)
- ♥指揮者の先生がとても表現力のある方だなと思いました。非常に分かりやすく印象に残りました。

♥せまりくるような熱い指導でした。ついつい先生の方に身体の向きが…。お客様に届けられるようにがんばりたいです。
♥時間が早すぎてこわいです。表現することむずかしい。客席を見てうたう。お客様は神様です。
♥すみません。大事な練習でしたが、用があって途中でぬけます。
♥森口先生の力のご指導に感動しました。表情の大切さ…頑張ります。(ヨッチン)
♥新しい発見がたくさんありました。練習で生かしていきたいと思えます。
♥森口先生、今日はとても良い勉強させていただき感謝です。少しでもベテランに近づけるように頑張らなくては…と心に思えます。
♥今日は講義を楽しみにまいりました。(Hamu-Star)
♥今日は大変つかれましたが楽しい練習でした。
♥チケットの声かけをしました。4人程申し込んでくださいました。残りも頑張ります。森口先生、大変楽しみにしていました。すごく楽しく練習することが出来

ました。心なしか声が引き出されたような気がいたしました。
♥すばらしいご指導、感動しました。ありがとうございました。
♥森口先生のご指導、しっかり身につけたいと思えます。
♥伝わるものがいっぱいでした。
♥迫力のあるご指導にだんだん臨場感が湧いてきました。
♣いい勉強です。
♣本当に演劇ですね。教わったあとに顔がつかれました。
♣おつかれ様でした。楽しい森口先生の指導でした。はずかしがらずにのめり込む事が必要なのかなと思えました。(Moo56)
♣今年もよろしくお願ひします。
♣仲良しのAさんが他仕事(公務)で忙しくどうにもならないとのこと残念。その分、自分が頑張らねばと…。森口先生の“天にいます父(神)さま”を思って歌うこと。(ヒロ一)
♣厳しいご指導、ありがとうございました。第九新発見でした。
♣中身のある練習でした。(ねこふんじやった)

♣森口先生の情熱的なご指導、とてもためになりました。歌うことは演じる(表現する)ということだと教わり、少し明るい表情で歌ってみようと思っています。久しぶりに腹筋が痛くなる練習でした。
♣舞台を見て歌うことにしよう。(Ryo)
♣ぜーんぶ出し切った!良かった。(K.C.)
♠お疲れ様です!(歌太郎)
♠充実した練習でした。
♠森口先生の情熱的な指導で、緊張感が高まりました。(ソルトビーチ)
♠意味を理解してうたうことの難しさがわかりました。頑張ろう。(Tyuu)
♠講師のハードな指導、大変だったが効果満点でした。
♠部分的に要点を整理され、分かり易い形で取り組むことが出来ました。さすがスゴイ指揮者です。(がみchan)
♠早や10月、あと2ヶ月と少して本番これまでも本気でしたが、これからもっと本気でやります。神様お許しください。(むちうった)

●編集後記

次回は**10月23日(日)19:00~21:30**



前回の森口先生のご指導、いかがでしたか? 初心者は早く暗譜をすること。暗譜ができている経験者はその内容を再確認することを痛感した内容でした。今回のご指摘の内容は、楽譜にそれぞれ理解できるように書きうつして最後の仕上げに活かしてください。
また、その様子は動画ファイルをSDカードを使ってお分けしますので、お申し付けください。パソコンはもちろん、iPhoneやiPadなどでご覧になれます。

[\[munenori@horita.jp\]](mailto:munenori@horita.jp)